

NKM新聞

oonishi@pbh.city.nago.okinawa.jp

メンバー募集中
区長・仲本兼仁
書記・宮城さとみ
TEL 0980 (52) 4630

国指定無形文化財組踊保持者・親泊興照さんに聞く



取材を終えて記念撮影する親泊興照さんとNKM豆記者
=9月16日、親泊さんの組踊研修所

2013年9月16日、大西区の親泊興照さんの組踊研修所で親泊さんが、組踊の歴史、演じ方を教えてくれました。大西区の事を知るための、豆記者の取材に答えてくれました。説明以外

名人の芸、大西の宝

三間四方で無限の世界表現

にも、自分で作った王冠など、道具を見せたり、セリフを唱えたりして、組踊のすごさが分かりました。

親泊興照さんは、大西区に住んでいて、国指定無形文化財組踊保持者、琉球舞踊保持者です。大西区の色々な文化行事にも参加しています。

親泊さんが琉舞を始めたのはエイサーや豊年踊りがきっかけでした。組踊を始めたのは師匠である初代の親泊興照さんの舞台を袖から見て自分もやってみたいと思ったことでした。

組踊の舞台は三間（5・4尺）四方しかないのですが、劇の設定によっては、那覇から名護までの距離を一瞬で移動するなど、どこまでも広がる世界がすごいです。

次回は親泊さんのインタビューも交え、組踊の世界を紹介します。



自ら作った王冠をかぶる親泊興照さん



親泊さんの話を聞きながらメモする豆記者

NKM11 私たちがつくりました

- 会員番号1 宮城周子 (名護中2年)
- 会員番号5 本村莉瑠 (名護小4年)
- 会員番号9 千葉せいか (名護小1年)

- 会員番号2 宮城麻咲 (名護中1年)
- 会員番号6 宮城麻都 (名護小4年)
- 会員番号10 本村れね (名護小1年)

- 会員番号3 宮城葉 (名護小4年)
- 会員番号7 伊藤日和 (名護小4年)
- 会員番号11 玉城つきの (名護小1年)

- 会員番号4 千葉成南美 (名護小4年)
- 会員番号8 玉城りんの (名護小4年)

新メンバー待ってるよ

豆記者体験を終えて

千葉 せいか

名護小1年（8班4組）

わたしは、ちばせいかです。なごしよう1ねん5くみです。かいいんばんごう9ばんです。わたしが、なつやすみががんばったことは、じてんしゃにのれたことです。あさのラジオたいそうに、じてんしゃでいくこともできました。まめきしゃチーム、がんばります。

千葉 成南美

名護小4年（8班4組）

私は、夏休みにラジオ体操をほとんど毎日休まずがんばりました。夏休みには、8月17日に行われた、夏祭りに家族で行きました。やきそばや、やきとりなど、とてもおいしかったです。



一番感動したのは、青年エイサーです。とてもはく力があって、すごかったです。新聞作りのための取材には、今回は行けませんでした。取材に参加して、自分の取材した記事を作りたいです。

伊藤 日和

名護小4年（8班4組）

大西区のラジオ体操そうでは、毎日行っている人もいたり、時々来る人もいました。たまに、大西区の区長さんからごほうびをもらいました。ラジオ体操そうの最後には、ノートやえんぴつ、しようじょうなどももらいました。また来年も毎日休まずがんばってごほうびをもらいたいです。

宮城 麻都

名護小4年（2班2組）

足がしびれるほどがんばった。組踊りのかんむりをこうしようさんが自分でつくって、すごいなと思った。

本村 莉瑠

名護小4年（8班4組）

8月17日に大西区夏祭りがありました。最初にぼんおどりがあり、色々な曲が次々と流れてきて、楽しかったです。次にエイサーがありました。力強いエイサーにびっくりしました。

ました。

最後に花火がありました。花火はともきれいで、特に最後の吊り下げた花火の火が、一気につくと雨のような花火がすぐきれいでした。今回、取材には行けませんが、西公豆記者チームとして、もつと、西区のいろいろな事を調べたいです。

宮城 周子

名護中2年（6班4組）

今回西区の豆記者チームに入って、初めて直接会って取材をするという体験をしました。自分の取材した事が新聞の記事として実際に載るといいう過程が少しだけ分かりました。組踊りにつ

いて調査を続けてもつと詳しく知りたいです。

宮城 葉

名護小4年（6班4組）

王様がかぶる王冠をはじめてみた。親泊興照さんが自分で作った冠を見た時、細かいところがいっぱいあったので、とてもすごいと思いました。

宮城 麻咲

名護中1年（2班2組）

私は、初めてとなるインタビューでめつたに聞けない組踊りやべり方や、普段見られない冠などを見たりと、とても感動する場面もたくさんあり、良い経験になりました。

【第003号】2013年10月

大西区 総務委員会だより

にしこうカラハイ事業始まる

今年度は794,000円の補助事業となりました。9月の運営推進協議会で5つの実行部会を立ち上げ、必要な備品などを取り揃え事業を順次スタートしていきます。今後「講演会」、「異文化交流」を順次実施します。



「豆記者養成」 デジカメ・プリンター・パソコン備品を揃え、11名の豆記者と7名の部会スタッフにより活動しています。豆記者新聞「NKM新聞」を10月に発行します。今後2か月に1回程度の発行を予定していますので、豆記者希望の方は公民館まで連絡下さい。



「居場所づくり」 5名の部員スタッフで活動を開始します。10月には、バスケット・バドミントン・卓球の運動用具を公民館に揃えることに成りました。準備できしだい開放します。ご期待ください！



図書室を整備し、未来塾と命名



スプライトカップ（子どもたちの試合）



子どもに1勝もできないおじいちゃん

「環境整備」 公民館の環境整備も総務委員を中心に順次進めています



名護市からの補助でスコップ・クワヘラなどが揃う（貸出可能）



公民館裏（階段下）へ倉庫作成



古い蛍光灯の取り替え



私達、豆記者である大西区の小・中学生メンバーはインタビューをしに行く前に、いろいろ決めていきました。そして、い

ざ行ったときは、とてもドキドキワクワクしていました。稽古をする部屋の中には親泊こうしようさんが自分で作ったかんむりや、いろいろな写真が沢山飾られていました。そして、インタビューの時に、いろいろな事を教えてくれました。しゃべり方には、工夫をしたり男が女の役をしたりなど、とてもすごいなあと思いました。感心する話が沢山ありました。また、実際に自分で作った冠などもかぶってくれました。少し緊張してなかなかしゃべれなかったけど、とても楽しかったです。これからやる取材は、もつと沢山質問していい新聞をかきたいです。